



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リビオ御堂筋あびこ		
建設地	住吉区苅田7丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	632.54 m ²		
建築面積	317.05 m ²		
延床面積	2,986.79 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上13階		
完了年(予定)	2026年3月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

A
BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 75%
④上記+ 75%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
良好な都市環境を形成し、周辺の街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努め、ZEH-M Orientedを満たす計画とした。	特になし
Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分は日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5を満たす計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内には適切に緑化を施し、良好な景観を形成している。また、外装や屋根の形状において周辺の風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。またLED照明、高効率給湯器等を採用し、エネルギーの削減に努めた。	LR3 敷地外環境 設備システムの効率化等により、ライフサイクルCO ₂ 排出率の削減に努めた。
Q2 サービス性能 各戸にGbitクラスのブロードバンド設備を整備し、快適な通信環境となるよう努めた。	LR2 資源・マテリアル ODP=0.01未満かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用し、汚染物質含有材料の使用の回避に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	気象台既存データを用いて風向風速卓越風などの風環境を把握している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5の水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し、省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.79	0.79	-